

心を通じる。想いが伝わる。

～12月3日から9日は「障がい者週間」です～

聞こえる人は日頃、音声言語でコミュニケーションを取っています。
しかし、聴覚や言語に障がいがある人はどのようにコミュニケーションを取っているのでしょうか。
障がいがある人に出会ったときに、どのように声を掛けたら良いか分からず、戸惑った経験がある人も多いと思います。

この特集では、手話をはじめとした、聴覚や言語に障がいがある人とのコミュニケーションについて取り上げます。難しく考えずまずは気軽に取り組みましょう。

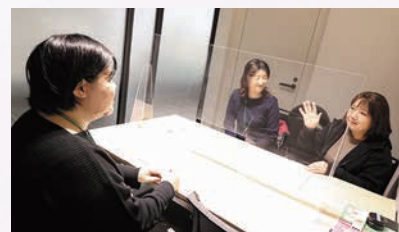
☎社会福祉課 TEL 23-5569

Voice ◀ 手話通訳者としての想い

社会福祉課 手話通訳者 土田千春さん

毎週月曜日と木曜日、市役所内の相談や手続きの際に手話が必要な方に対して手話通訳をしています。県に登録している手話通訳は現在100名ほどおり、学校や病院、企業、講演会などで、日頃手話を使う聴覚障がい者と聞こえる人たちを、手話と音声日本語という二つの言語でつなぐパイプ役として活動しています。手話通訳の数は年々減少傾向にあるのが問題です。もし、手話や手話通訳に興味を持っている方がいたら、ぜひ手話の世界に飛び込んでもらえたらと思っています。

聴覚障がい者の中には手話が分からない方もいます。そのような方へのコミュニケーションサポートとして文字で通訳をする「要約筆記」というサポートもあります。聴覚障がいのことやコミュニケーションの取り方などをこの記事をきっかけに知っていただければと思います。



▲手話通訳者 土田千春さん(左)

Point ! 聞こえない・聞こえにくい人と接するときには…



①話し始めは「アイコンタクト」から

聴覚障がい者は呼ばれた後に「声をかけたのは誰？」と目で確認します。顔を見て目を合わせたら「準備OK」です。これは筆談のときも同じです。相手の「準備」を待ちましょう。



②筆談は「簡潔に」「イラストも使って」

手話と音声日本語は違う言語です。そのため筆談の場合、長文や漢字が多いと分かりにくいことがあります。箇条書きにしたり、イラストや図を使ったりすると分かりやすくなります。



③車についている「ちょうちょマーク」

これは「聴覚障がい者が運転しています」というマークです。走行中にこのマークを付けた車を見かけたときには配慮をお願いします。

分からないかも…

危ないよ

大声を出す

声小さい・遠いために聞こえない訳ではないので、大声を出しても聞こえないことがあります。



後ろから肩をつかむ

驚いたり、転倒したりする恐れがあります。遠くにいるときは誰かに合図してもらいましょう。



How 手話以外のコミュニケーション

耳が聞こえない・聞こえにくい人は、手話の分かる人ばかりではありません。また、聞こえの状態はさまざまです。相手に寄り添ったコミュニケーション方法で、会話をしてみましょう。

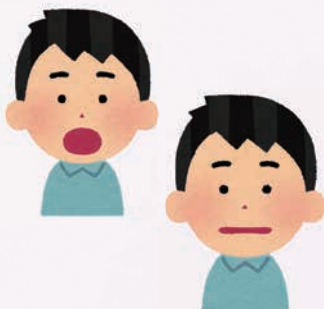
筆談・空書

ノートやメモ帳、空中などに文章を書いて会話をします。



口話

相手の口の動きを見て言葉を読み取ります。



音声翻訳

スマートフォン・タブレットなどで音声翻訳ソフトを介してコミュニケーションを図ります。



身ぶり・指さし

体を動かして感情や意思を伝えたり、指で答えを示したりします。



ご存知ですか？ 電話リレーサービス

このサービスは「(一財)日本財団電話リレーサービス」が提供する、聞こえる人と聞こえない人(聴覚障がい者・発話困難者)をオペレータが手話などにより通訳して電話でつなぐサービスです(有料)。令和2年6月「聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律(令和2年法律第53号)」が制定(同年12月1日施行)され、公共インフラとして制度化されました。



Voice 私が体験したことから

石岡市聴覚障害者協会の皆さんがお話してくれました。

○「聞こえない人」にも違いがある

聴覚障がい者には、生まれつき聴力がなかった人と中途失聴の人(途中で聴力が下がった人・聴力を失った人)がいます。また、聞こえないが発話ができる人、音は聞こえるが内容を認識できない人など、聞こえの状態はさまざまです。

発話ができるために聞こえると誤解され、相手の人が話を始めてしまった、という経験をお持ちの人もいました。

周囲の人は、その人の障がいの程度や状態に応じて配慮をすることが大切です。

○近くに「気にかけてくれる人」がいると…

防災行政無線やラジオから情報を得ることが難しい聴覚障がい者にとって、不安を強く感じるのが災害発生時。少しでも気にかけてくれる人が近くにいるとありがたいとの意見が聞かれました。

平成23年の東日本大震災発生時に停電・断水したときには、給水などライフラインの情報が手に入りづらかったので、特にこのような情報を教えてもらえると嬉しいという意見も多く聞かれました。



Try! やってみよう 手話講座

日常生活で使える代表的な手話をご紹介します。ぜひ、手話に親しんでみてください。
※今回は石岡市聴覚障害者協会の皆さんが見本を示してくれました。



①あいさつ

「あいさつ」は両手の人差し指を曲げ、2人がお辞儀をする様子を表します。



②おはよう

枕から頭を外す様子で「朝」を表し、これに①のあいさつの手話を組み合わせます。



③こんにちは

人差し指と中指で時計の正午を指し、これに①のあいさつの手話を組み合わせます。



④ありがとう

相撲で、勝った力士が手刀を切る様子を表します。



⑤お疲れさまです

片方の手のこぶしで、もう片方の手首の上を軽く2回たたきます。



⑥ごめんなさい

親指と人差し指で眉間をつまむようにします。手を開き、指をそろえて上から下へ軽く下ろしながら頭を下げます。

Information))) お知らせ

手話通訳を設置しています

毎週月曜と第1・3・5木曜は本庁社会福祉課に、第2・4木曜は支所市民窓口課に手話通訳がいます。

☎社会福祉課 TEL 23-5569

手話通訳を派遣します

聴覚に障がいがありお困りの人、近くに聴覚障がい者がいる人のために手話通訳を派遣します。

☎社会福祉課 TEL 23-5569